

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		エールかみさと		公表日		2026年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・利用者が多い日は2つの部屋を使用するなど工夫をしている。 ・二つの部屋を利用したり、リトミックでは二階を使用している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	2		・適切に配置されているが、1人増やすことでより手厚い支援が行える。 適切な人数であるが、もう少し人数がいた方が手厚い支援が行える。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・大きな生活空間や設備等は、問題ない。利用者様に応じて環境設定を変え混乱が生じないように配慮している		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		利用者が帰宅後に毎日清掃を行っている。 安全点検も同時に行い、修繕が必要な箇所は報告し改善を行っている。 ・特性や関係性に配慮し空間設定を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			・部屋の移動やスペースを使用を認めている。しかし、閉鎖された個室になれる環境設定は構造的に難しい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・月1のミーティングを行い、職員間で共有を図っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・毎年全保護者に評価して頂いている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・月1のミーティングや日々の業務内で意見交換を行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		・現在第三者への共有は行っていない。しかし、系列施設職員間での意見交換を行っている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・今年度は外部の虐待研修に参加した。 ・オンライン研修など、職員の希望のあるものを受講している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・送迎時やケア記録で保護者との共有を図り、アセスメントを実施し計画に反映している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・計画を立てる際、職員間で話し合いを行い、方向性を検討している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		・現在標準化された評価を用いていない。必要に応じて使用を検討する。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・活動内容は職員間で意見を出し合い決定している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・季節行事や長期休みでしか取り入れられない活動など、内容を決めている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5				

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		毎日業務日報に記録を残し、翌日に申し送りを行っている。また、過去の記録も見返すことができる。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・新年度新しい担任が決まり次第、関係相談を行い連携を図っている。（公立）	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・学校送迎時に引き継ぎを行っており、必要に応じて電話連絡を行う	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		・保護者へ了承を得て、保育園での様子を見学し、担任から聞き取りを行い情報共有に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		・必要に応じて情報共有を行っている。 ・支援相談員さんを通じて、事業所へ引き継いでいただいている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイスや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	・地域に児童発達支援センターを担っている施設がなく、保健センターで母子関係や行政で発達関係の相談援助窓口になっており、行政と連携を取っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	・図書館では「おはなし会」で一緒に時間を過ごす事がたまにある。	・長期休暇期間中は、地域の児童館を利用しているが、挨拶を交わす程度の関りで活動は行っていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		・こども部会へ積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・送迎時に引き継ぎを行うとともに、アセスメントを行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	研修の案内を家庭に配布している。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時、規定変更時、受給者証の変更時など説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・意向の確認は行っていないが、日々のケア記録で実施したことや本人の様子を記録し、保護者様にコメントを頂いている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		・支援内容の同意は行っていないが、日々のケア記録で実施したことや本人の様子を記録し、保護者様にコメントを頂いている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・送迎時や支援会議内で、できる範囲で相談に応じている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	2	・「保護者会」「きょうだいい会」との名目で開催は行っていない。みかん祭りや季節の行事で、保護者やきょうだいの参加を募っている。 ・親子行事として毎年みかん祭りを実施している。その中で保護者同士の交流を図ってもらっている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・今年度も苦情件数はなかったが、今後事案がある場合は担当を設置し迅速に対応していく。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・保護者に対し発信は、事業所の活動記録に全体での活動内容や予定を周知している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		地域住民を招いての行事はまだないが、検討はしている。 ・現在行っていない。 ・地域の駄菓子屋さんにお買い物に行き、地域交流を行っている。 ・新しい区長さんへ事業所の説明等を行っている。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所入口にマニュアルが置いてあり、いつでも閲覧可能になっている。</li> <li>・毎年6月に引き渡し訓練を実施している。</li> </ul>	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年6月に引き渡し訓練を実施している。</li> </ul>	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		毎月のミーティングで共有し方策を検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度より、施設外の虐待研修に参加。</li> <li>・年間の取り組みのテーマを決め、毎月のミーティングで実施している。</li> </ul>	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会の設置をはじめ、ミーティングで検討を行っている。</li> <li>・契約時に保護者に説明し、個別支援計画にも記載している。さらに、身体拘束を行った場合は記録に残し、保護者に状況を説明している。</li> </ul>	